

七夕 警城時報

印刷部 石城郡平野町十四番地 電話 八四一 弘一 弘二 弘三 弘四 弘五 弘六 弘七 弘八 弘九 弘十 弘十一 弘十二 弘十三 弘十四 弘十五 弘十六 弘十七 弘十八 弘十九 弘二十 弘二十一 弘二十二 弘二十三 弘二十四 弘二十五 弘二十六 弘二十七 弘二十八 弘二十九 弘三十 弘三十一 弘三十二 弘三十三 弘三十四 弘三十五 弘三十六 弘三十七 弘三十八 弘三十九 弘四十 弘四十一 弘四十二 弘四十三 弘四十四 弘四十五 弘四十六 弘四十七 弘四十八 弘四十九 弘五十 弘五十一 弘五十二 弘五十三 弘五十四 弘五十五 弘五十六 弘五十七 弘五十八 弘五十九 弘六十 弘六十一 弘六十二 弘六十三 弘六十四 弘六十五 弘六十六 弘六十七 弘六十八 弘六十九 弘七十 弘七十一 弘七十二 弘七十三 弘七十四 弘七十五 弘七十六 弘七十七 弘七十八 弘七十九 弘八十 弘八十一 弘八十二 弘八十三 弘八十四 弘八十五 弘八十六 弘八十七 弘八十八 弘八十九 弘九十 弘九十一 弘九十二 弘九十三 弘九十四 弘九十五 弘九十六 弘九十七 弘九十八 弘九十九 弘一百

四十八萬通に達した 本年の年賀郵便

配達は四十一萬通 昨年より一割三分増 平郵便局で取扱つた十二月廿九日四十八萬四千六百二十六通と、多日までの年賀状は左の如く二十数で従つて元日の配達数を見れば五日頃より急激に増加し最終日は二十萬四千四百三十四通又の二十九日は夜間受付さへ一萬五千七百七十一通となり昨年に五千通に達してゐる。

問違つたのか盗んだのか 百圓の包が紛失

謎のやうな事件 平驛待合室で六日午前七時三十分「前記山城の所持分項列車待合室中の石城郡内郷品を同様に置き去りにした者が村綴磐城炭坑夫關根山城(三)あつた、右は一且窃取したが(二)が便所に行つた際待合室に置き去つたものでもないの、置いた他人の所持品衣類五十点去つたと思はれるので平署に窃取されたので山城は驚いて平署に訴へ出た、ところが程経て湯本驛に一人の乗客が現れ、「只今平驛から問違つて他人の石城郡赤井村果樹組合組合が荷物を持つて来たから送り返し秋静岡産の富士梨と大競争をな

赤井村の 果樹組合探める

た五日の總會は遂に流會に終つたが共同販賣上の欠陥を暴露し産業團體の發達に至大の影響を來すことになるので非常な注目をして居る。

白銀町街路で 五百圓小切手を拾得

平町白銀町町會議員高橋龜松氏事件であることが判明したが怪奇三女カマ(十)は七日午前十時事件として驚かした徳造と稱する頃平町白銀町街路で七十七銀行支拂の五百圓の小切手を拾得し平署に届け出た。

石城蠶業講演

郡養蠶同業組合主催の蠶業講演會は九日午前九時から平町磐城訓官院内に開催講師は蠶糸中央會參事上原重美、本縣蠶糸課長太田兵太郎氏である。

殺人事件 不可解なる

昨報石城郡勿來町昭光寺墓地で従妹に當る情婦植津うた(二九)を殺し屍體を海中に投げ込み逃走兵隊縣警署に自首し出た石城郡植田町人事周旋業植津徳造(三七)の殺人事件につ

宿屋で眠つた 目の醒めぬお客

安積郡大月村上町鈴木長助(六)が生命危篤である、右について七)は六日夜半町鎌田町旅人宿で同發電所では語る。

馬を拾ふ

石城郡三坂村大字上三坂小平文七所有の馬の中に十二月二十五日夕刻猛獸がたどいふので附近の者数名で取押へた處二才の牝馬で所有者が判明しなかつたため飼養してゐたが六日平警察署に出頭し拾得物の届け出をなした。

平發電所の モーター爆発

平町磐城炭礦發電所で五日午後零時半頃新たに据えつけたモーターの試運転をなすべく起動機にスキッチを入れた際機械が廻轉を開始した瞬間起動機内の油が突然引火し轟然たる音響と共に爆発しこれがため運轉作業に

船室で休憩中 漁夫二名窒息

茨城縣久慈郡久慈町山崎孫八所火を焚いた船室で休憩中炭酸ガ有漁船八丸乗組員木村五太郎(ス)のため兩名共窒息してゐるの(十九)は六日午後四時頃小名濱を發見し手當したが丑次郎は絶命港に旋泊中押山義三郎と共に炭義三郎は蘇生した。

ガキ集

郡金房村消防前組頭崎崎義雄氏(辭任せし)を以て後任組頭物色中の處今伊賀助太郎氏選舉せられ直ちに就任した。

添寝中死亡

石城郡好間村大字北好間字權現堂好間炭礦坑夫瀨谷勉内縁の妻茨城縣多賀郡河原町生れ金子ヤス(二一)は五日午後九時頃長女ツヤ(二二)と共に床に就いたが夜着の襟でツヤは窒息死亡したヤスは平署で過失致死として取調中

好間の山火事

郡好間村宇平貫澤公有林から六日午後六時頃山火が起り数反歩を焼失して同十時鎮火した。

原町通信

原町皮切新年會 三日正午より原町榮町有志が同町の松田屋旅館に於て新年會を催したが例年ならば會費一圓の處今年は緊縮發行の爲め金五十錢に節約したが、之れが原に於て新年會の皮切だとの事。

原町鐵俱總會 原町鐵道俱樂部總會は六、七日兩日に亘り同町旭座に於て開催されたが總會後同俱樂部主催で鐵道從業員家族慰安の爲め活動寫真映畫會を催した。

金房組頭就任 相馬

